第２回学生交流会　開催報告

応用物理学会スチューデントチャプター　電気通信大学 SC　米丸朋宏

第 61 回応用物理学会春季学術講演会の会期中に開催された第 2 回学生交流会について報告する。

- **開催の目的**：これまでの各大学のスチューデントチャプター(以下 SC)の活動をフィードバックし、学生間で研究室そして大学の垣根を超えて情報交換することを目的としている。また、SC に所属していない応物学会学生会員にも積極的に広報し、SC 活動について周知し、その活動を拡大することも目指す。
- **企画 SC**：電気通信大学 SC,早大・日女大 SC の合同開催
- **日時**：2014 年 3 月 17 日　16:00~18:00
- **場所**：青山学院大学　相模原キャンパス　D2 会場(D 棟 1 階 113 教室)
- **対象**：学生

  →SC に所属している学生や応物学会発表者のみならず、応物学会に所属していて SC 活動に興味のある学生も多く受け入れた。
- **参加者数**：40 名程度
- **実施内容**：

16:00~17:20　各大学 SC の活動紹介

- ✓ それぞれの大学の SC の代表者がスライドを用いて今までの活動内容を説明した。
- ✓ 参加者にオープンな雰囲気で自由に質疑応答をかわして情報を交換した。

17:20~17:30　SC 設立要件の改定についてのアナウンス

- ✓ SC から応物学会への公式な提言について応物学会よりオフィシャルな回答を得た。

→特に、SC 設立のための人数制限の改定(SC 構成人数を“20 人以上”から“10 人以上”へ変更)は学生の主張が尊重された。SC 設立へ向けて学生が動きやすくなるものと想定される。

17:30~18:00　ポスターを囲んでのフリータイム

- ✓ スライド発表を聞いて気になったことや、各自が具体的な活動の立案から開催までの情報を交換した。

ポスターを囲んだフリータイム時の情報交換のようす

交流会参加者の集合写真

- **成果**：今後の SC 活動が、大学別の活動ではなく、大学間での連携や交流を促進するものとなった。学会に研究成果を発表するためだけに行くのではなく、本交流会を通して応用物理学会という共通項をもつ学生同士が交流・懇親できた点において有意義であった。
- **今後の展開**：今回の交流会では、大学の SC ごとにいくつもの活動をしていることがわかり、その活動の幅の広さに驚かされた。今後は、1 つの大学内だけで SC の活動がとどまることなく、その地域の大学を巻き込んで活動の充実を図っていきたい。第 3 回学生交流会の企画も進めていく。

✧　付録　～交流会後の懇親会～

今回開催した第 2 回学生交流会に参加した学生は、**無料**で応用物理学会の懇親会(19:00~)に参加させていただくことができた。おいしい食事とお酒で話は盛り上がり、交流会は無事に終わることができた(その後 2 次会へと向かう学生もいたとか、いなかったとか…)。

懇親会でのポスター紹介

どうもありがとうございました！